

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	全国健康保険協会事務費負担金	担当部局庁	保険局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度	担当課室	保険課全国健康保険協会管理室	藤田 学				
会計区分	一般会計	施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法第151条、船員保険法第112条	関係する計画、通知等	平成24年度全国健康保険協会保険給付費等国庫補助(負担)金交付要綱 (平成24年4月6日厚生労働省発保0406第2号)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	健康保険事業及び船員保険事業の事務の執行に要する費用を負担することにより、全国健康保険協会の円滑な事業運営に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①全国健康保険協会の健康保険事業の事務の執行に要する費用の負担金 ・全国健康保険協会の認可予算額(健康保険勘定)のうち、一般管理費(人件費・一般事務経費)に要する費用を負担 ②全国健康保険協会の船員保険事業の事務の執行に要する費用の負担金 ・全国健康保険協会の認可予算額(船員保険勘定)のうち、一般管理費(人件費・一般事務経費)に要する費用を負担 ③退職手当引当金 ・旧社会保険庁から移行した職員の公務員期間に係る退職金相当額の引当金							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	12,211	12,305	10,336	9,302	8,657	
	執行額		12,211	12,305	10,336			
	執行率(%)		100%	100%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	事務費負担の軽減が目標となっているため、定量的な成果指標を設けることは困難。		成果実績	百万	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事務費負担の軽減が目標となっているため、定量的な成果指標を設けることは困難。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
				()	()	()	()	
単位当たりコスト	— (円/ —)		算出根拠	—				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	全国健康保険協会事務費負担金	9,302	8,657	人件費相当分の減によるもの				
	計	9,302	8,657					

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		健康保険事業及び船員保険事業の円滑な事業運営のための健康保険法に定める負担金であり、優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		被用者保険のセーフティネットである協会けんぽの円滑な事業運営のための負担金であり、国が実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		全国健康保険協会の事業の円滑な運営を図るため、人件費や消耗品等の事務費に充てられている。
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
		※類似事業名とその所管部局・府省名		
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			
点検結果	負担金の交付先である全国健康保険協会においては、毎年前年の水準を下回ることを目標に一般事務経費の削減を行っている。それに合わせ、事務費負担金の交付額についても、独立行政法人の経費削減方針に倣い、毎年削減を行っている。 前記の執行実績について、21年度を22年度が上回っているのは船員保険事業に係る事務費負担が22年1月から新たに生じたためであり、単純に増加しているわけではない。			
予算監視・効率化チームの所見				
一部改善	本事業については、健康保険事業及び船員保険事業の事務の執行に要する費用を負担することにより、全国健康保険協会の円滑な事業運営に資するものであり、事業の必要性や執行の観点からの評価は概ね妥当であるが、管理コスト等の見直しを行うよう努めること。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
縮減	業務経費等の見直しを行った。(反映額: ▲646百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	255	平成23年行政事業レビュー	227	

※平成23年度実績を記入

平成23年度実績

健康保険事業事務費負担金

厚生労働省
9,498百万円

全国健康保険協会の認可
予算額(健康保険勘定)の
うち、一般管理費(人件費・
一般事務経費)に要する費

[負担金]

退職手当引当金(健康保険分)

厚生労働省
600百万円

・旧社会保険庁から移行
した職員の公務員期間に
係る退職金相当額の引
当金

A 全国健康保険協会
(健康保険勘定)

委託先
(システム保守等)

船員保険事業事務費負担金

厚生労働省
213百万円

全国健康保険協会の認可
予算額(船員保険勘
定)のうち、一般管理費
(人件費・一般事務経費)
に要する費用を負担

[負担金]

退職手当引当金(船員保険分)

厚生労働省
25百万円

・旧社会保険庁から移
行した職員の公務員期
間に係る退職金相当額
の引当金

B 全国健康保険協会
(船員保険勘定)

委託先
(システム保守等)

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)(単
位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.全国健康保険協会(健康保険勘定)			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	協会の役員、職員等に係る給与等	9,498			
	一般事務経費	リース費用(ハードウェア・ソフトウェア等)等				
	委託費	システム保守等				
	退職手当引当金	平成20年10月に旧社会保険庁から採用された職員に係る公務員時代の退職金相当額の引当金	600			
	計		10,098	計		0
	B.全国健康保険協会(船員保険勘定)			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	協会の役員、職員等に係る給与等	213			
	一般事務経費	リース費用(ハードウェア・ソフトウェア等)等				
	委託費	システム保守等				
	退職手当引当金	平成22年1月に旧社会保険庁から採用された職員に係る公務員時代の退職金相当額の引当金	25			
	計		238	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国健康保険協会(健康保険勘定)	全国健康保険協会管掌健康保険事業を行う	10,098		

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国健康保険協会(船員保険勘定)	船員保険事業を行う	238		